



上賀茂だより

学校教育目標 自ら考え 正しく判断し 実行する子どもの育成
～喜んで登校 満足して下校～

令和7年2月28日(金)

京都市立上賀茂小学校

校長 上原 誠



第2回 学校評価号

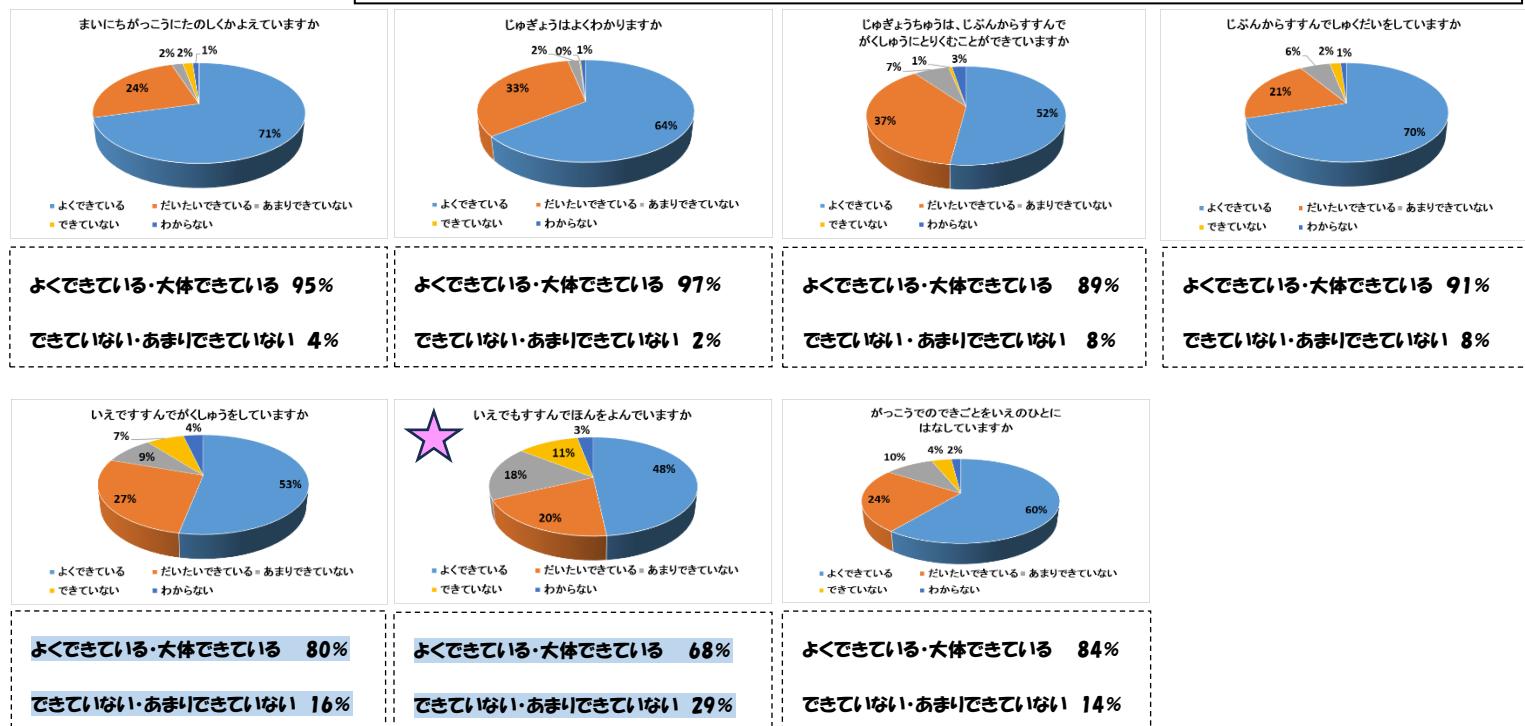


令和6年度 第2回学校評価結果について

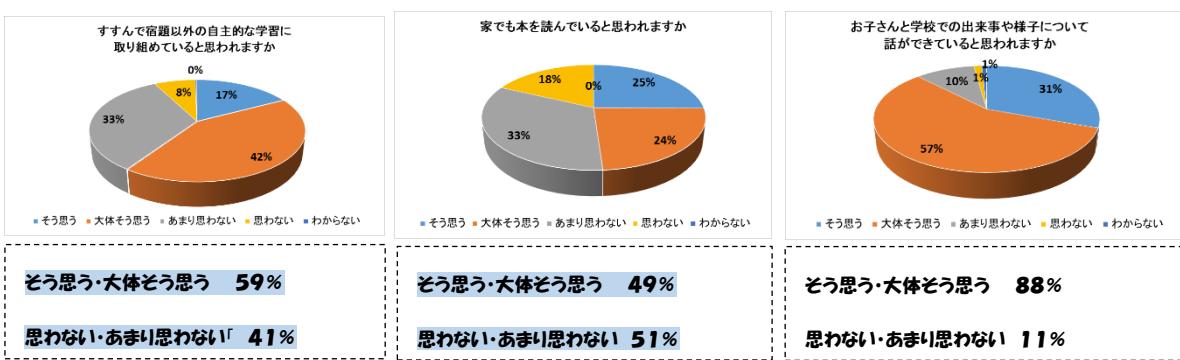
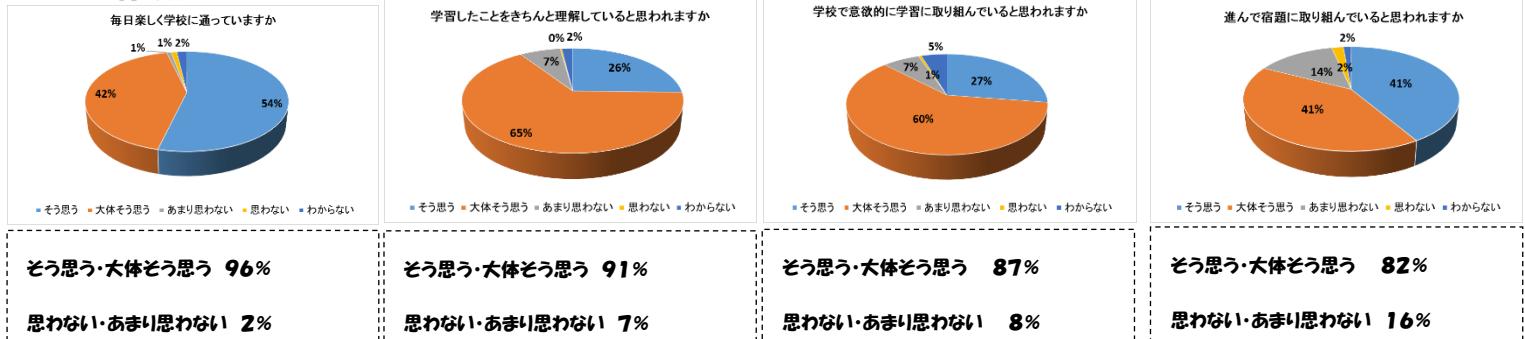
令和6年度第2回学校評価を実施いたしました。お忙しい中、ご協力いただきありがとうございます。いただいたご意見は今後の学校教育活動に活かしていきたいと思います。

確かな学力 <児童>

・できている割合が他より低い項目 ・前期よりできる割合が5%以上減っている項目 、増えている項目



<保護者>



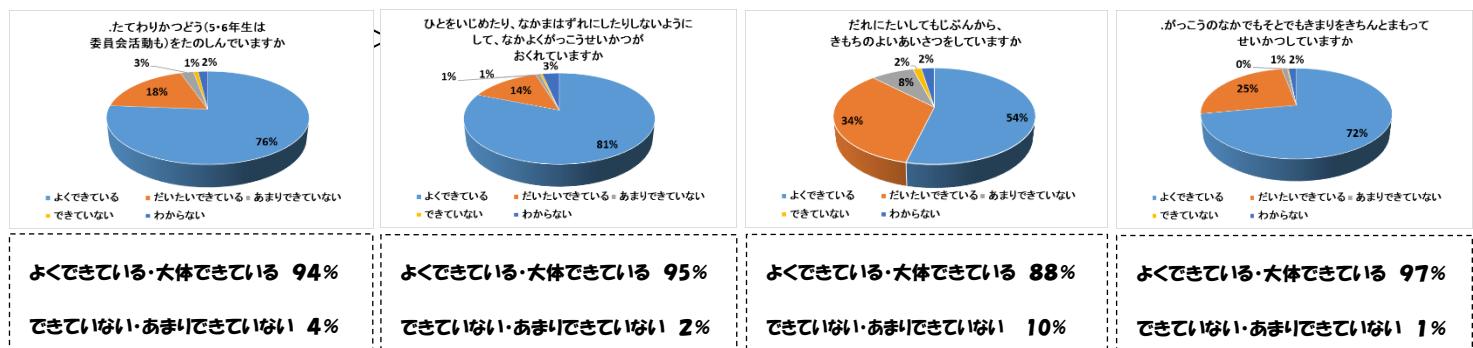
「宿題とは別に、家で進んで学習をしていますか」「家でも進んで本を読んでいますか」の2項目は、前期と同様、他の項目に比べてできている割合が低いという結果になりました。特に「家でも進んで本を読んでいますか」については、児童において、前期より6%下がっています。保護者においても49%と前期よりもさらに低い割合です。

前期にも述べたように、子どもたちは、外で遊べない日は好んで図書館に行ったり、読書の時間や休み時間に進んで読書したりしています。しかし、それ以外にも、タブレットを使っての学習や委員会活動の仕事、係の活動など、子どもたちは休み時間に活動的に過ごしています。高学年になるにつれて、タブレットなどを使って調べ学習をする課題が増える状況にもあります。タブレットは便利で、インターネットを活用してあらゆる情報を得ることができるので、優先的に使うことが多くなるかもしれません。その中で、たくさんの情報から取捨選択し、必要なものだけを取り入れる力を持つ必要があります。今後も、さらに、本とインターネットを上手に使い分けることが大切になってくると思います。

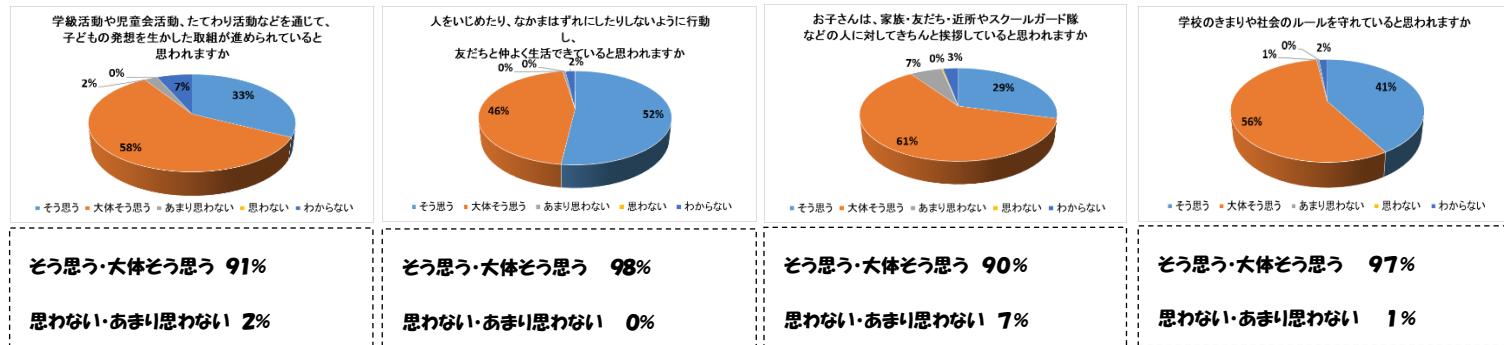
「家で進んで学習をしていますか」という項目も、両者ともにできている割合が低くなっています。

自主学習では、苦手なところを復習して「わかった」「できた」という経験を積み重ねて自信につなげるのも良いと思います。一方、好きなことをじっくり調べていく学習ができるのも、自主学習の魅力です。好きなことや興味のあることについて、自分のやりたい方法を見つけて自分に合った進度で学ぶことで、学ぶ楽しさを味わえるのではないかと考えます。

豊かな心



<保護者>



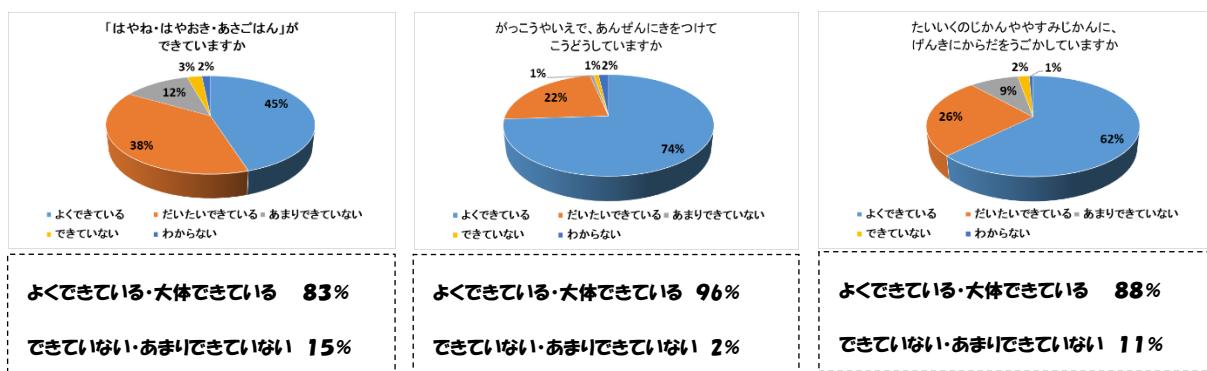
児童において、「あいさつをしていますか」という項目については88%ができており、前期より4%減っています。それ以外の項目はできる割合が95%前後で前期とほぼ変わらない結果となりました。

児童において、あいさつについての割合は低いとは言えませんが、自信をもって「よくできている」と回答している割合は54%と前期より9%減っています。

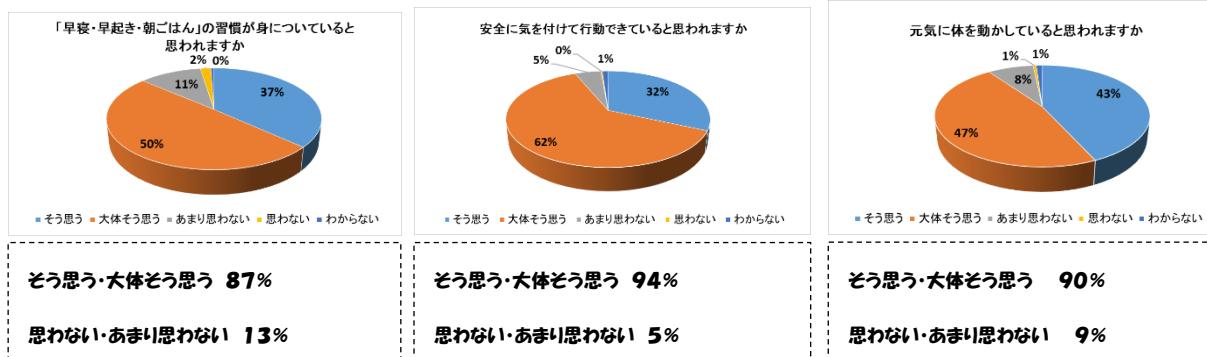
それ違う時に進んであいさつができる子どもたちもいれば、あいさつをすると、返してくれる子もいます。また、あいさつをしても返事のない子もいます。まずは、大人が気持ちの良いあいさつをして見本となるのはもちろんのこと、あいさつをする姿が素敵な先輩や友だちを見習ったり、あいさつの良さについて学校全体で取り組んだりしていくことも大切だと考えます。

学校のきまりをきちんと守り、友だちと仲良くできている上賀茂小の子どもたち。けれども、悲しい思いをする経験もしています。大切なのは、何か嫌なことがあったり苦しいと感じたりしたときに、周りの大人や友だちなど信頼できる人に相談できることです。「心配をかけるから」「知られたくないから」と誰にも言えないでいる子がいるよう、子どもの小さな変化を見逃さないようにしたいものです。また、一人で悩んでいることを知らない方がもっと心配だということも伝えておきつつ、相談しやすい状況をつくっておくのも大事だと考えます。

健やかな体 <児童>



<保護者>



前期と比べるとほぼ結果は同じでした。児童の「早寝・早起き・朝ごはん」については、できている割合は83%で、前期より少し下がっています。「安全に気を付けて行動していますか」という項目では、児童、保護者共にできる割合が高く、保護者においては、前期より4%上がっています。学校での安全教育だけでなく、子どもたちの安全を守るために、ご家庭でも地域でもていねいに声をかけていたいたいたり、通学路を見守っていただいたりしていることが反映されていると思います。

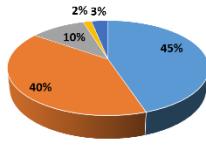
夏場の高温が収まり、秋や冬の時期は、運動場でたくさんの子どもたちが遊んでいる姿が見られました。休み時間にしっかりと体を動かすことができた子どもたちが多かったのではないかでしょうか。昼間に体をしっかりと動かすことは、質の良い睡眠につながります。高学年になるにつれて、放課後も忙しく過ごす子どもたちが増えると思いますが、睡眠も大事にしてほしいと思います。夜に十分な睡眠をとることは、朝すっきりと目覚め、落ち着いて朝ごはんを食べることにもつながると思います。

子どもたち自身がその大切さに気づき、生活リズムを自分で整える意識をもって過ごせるよう、学校でも健康教育に関する学習を工夫していきたいと思います。

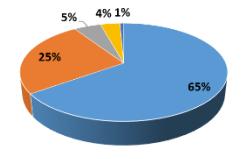
学校独自の取組

<児童>

がくねんのもくひょうやクラスのもくひょうをいじきしていますか



がっこうでくばられたてがみやプリントをきちんとおうちのひにみせていますか

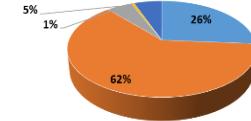


よくできている・大体できている 85%

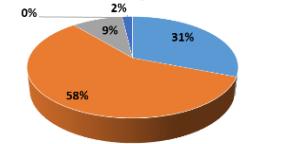
できていない・あまりできていない 12%

<保護者>

学校教育目標「自ら考え、正しく判断し、実行する子どもの育成」をはじめ、学校や各学級の目標が学校や担任からメッセージを通してしっかりと伝わっていると思われます



学級だより、学校ホームページ、すぐーる等を通じて、学校や子ども達の様子がよく分かると思われますか



小中連携の取組について、「保護者のできている」という回答が前期に比べて8%減っています。その他については、前期とほとんど変わらない結果になりました。

配付物については、すぐーるでの配信が主流となっていますが、紙で見たいものもあるというご意見もいただいています。皆様のニーズに沿いながらより良い方法を考えていきたいと思います。

ホームページについては、保護者の皆様が子どもたちの学校の様子がわかるように、更新していく必要がありますが、十分にはできていない現状にあります。来年度に向けての課題として取り組んでいきたいと思います。

記述欄にもたくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。いただいたご意見を学校全体で共有し、さらに、学校運営協議会でも話題に挙げて、今後より良い学校教育活動に活かしていきたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

第3回学校運営協議会において、学校評価の結果について話し合いました。学校運営協議会からは以下のようなご意見をいただきました。

- より結果を分析して今後に生かせる項目内容を検討していく時期かもしれない。
- 「よくできる」の具体的基準をわかりやすくしてはどうか。
- 児童と保護者の意識のずれが大きいのが気になる。
- アフターコロナ・働き方改革等時代の流れの中で、時間を上手く創造していくことが大切。
- 学校という環境の中で、五感を通して成長する場所を大切にしてほしい。一番は、人と人とのつながりの中で、成長する姿を望む。
- 配付物について、ものによって紙での配布も検討していく必要がある。
- 運動会は、レクリエーションになっているのではないか。点数を意識してそこに向けて頑張つていくのも大切な姿ではないか。